

ブリュッケ

玉造順一 市政レポート

ブリュッケとは、ドイツ語で「橋」。玉造順一は、市政と市民の架け橋となって、市民の声が反映される市政の実現をめざします。

いま、確かな市民自治を — 次は地方政治を変える番! —

世の中の曲がったことや間違っただけとを真つ直ぐに正すことが、政治の使命です。市民が額に汗して働き、納めた税金が、適切に使われているかをチェックすることに全力を尽くしてまいりました。

特に市民の関心の高い2千億円超の市債については、財政見通しの中に今後予定される新清掃工場建設など大規模事業を加味してより実態に近い財政指針とすることや、一時借入金利子の縮減、ミニ公募債の償還積立ルール化などを提案し、着実に実施されております。

こつした財政の健全化を図りながら推進すべきは、教育や福祉など「人を大切にする政策」です。国政では政権交代によって「コンクリートから人へ」の政策転換が行われつつありますが、いよいよ次は自治体が問われる番!

私は、市民による自治を大切にしながら、地方政治改革の先頭に立つて頑張る決意ですので、皆様の引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



たまつくり じゅんいち 38歳

●プロフィール●

1971年(S46)11月2日 本町1丁目に生まれる。
血液型A型。趣味はカラオケ、旅行、読書、スキーなど。
浜田小、水戸二中、緑岡高校、茨城大学人文学部を卒業した後、労働金庫に8年間勤務。茨城大学大学院修士課程修了。
2003年水戸市議選で初当選し、現在2期目。
<主な活動>市議会都市建設委員会
市議会会派「民主・社民フォーラム」所属
水戸観光協会理事
水戸市土地開発公社理事
茨城大学文理・人文学部同窓会理事
社民党茨城県連合副代表など

E-mail jtama@sdp.or.jp
ホームページ http://www.sdp.or.jp/tamatsukuri

みなさまの“声”をお寄せください

キリトリ線
郵便はがき

310-8790

水戸市本町一〇〇一

玉造順一 後援会 行

料金受取人私郵便

水戸支店 承認

2105

差出有効期間
平成24年2月
28日まで
切手を貼らずに
お出し下さい。

キリトリ線

2/15~17
議会改革に関する視察

水戸市議会の議会改革をめざす有志議員で、三重県議会、三重県伊賀市議会、千葉県松戸市議会を調査に訪れました。

初日は三重県議会。改革派知事で知られる北川正恭氏が知事を務めていた頃、行政に対応して議会自ら改革をする必要性があったとのこと。政治的には、民主党会派が最大会派であるため、改革論議を進めやすい環境だそうです。一問一答などの形式はもちろん、会派間で合意をするためのプロセスも参考になりました。

全国の市の中で初めての「議会基本条例」を制定した同県伊賀市議会。制定当時の議長さんのお話をお聞きしました。条例施行後、実際議会は変わっただけが重要で、議会質問に対する執

行部の反問権、市民への議会報告会開催、議員間討議の実施により、議員個人の能力が問われるようになり、確実に質の向上が図られているようです。議長選での討論会実施は、ぜひ水戸でも導入したいものです。

最終日は千葉県松戸市議会を訪問。議会基本条例の内容はシンプルでしたが、それだけに会派間で合意をめざした苦労の跡を垣間見た気がします。

各議会に共通していたのは、地方主権にどう向き合うかを議会として真剣に議論してきたこと。水戸市議会でも私たちがその牽引役を果たしていきたいと思えます。(視察報告の詳細は、ホームページをご覧ください。)



あなたのお名前とご住所

お名前 _____ メールアドレス _____

ご住所 〒 _____

お電話 _____

